

読書のまち



読書は、わたしたちの心を豊かにし、人生をより深く生きるための知恵をもたらしてくれます。読書を通じて、文化の向上につとめ、人にやさしいまちをつくりましょう。生涯にわたり、読書を楽しむ人があふれるまちをめざして、函南町はここに、「読書のまち・かななみ」を宣言します。

- ・親子や家族、みんなで本を読みましょう。
- ・保育園や幼稚園の子どもたちは、絵本ともだちになりましょう。
- ・児童や生徒は、たくさん本に親しみ、読書習慣を身につけましょう。
- ・地域のことを知り、人生を深く味わうために、本から学びましょう。
- ・町ぐるみで、読書に親しむ環境を作りましょう。

スポーツのまち



わたしたち函南町民は、スポーツの振興を図り、スポーツを愛し、健康でたくましい心と体をつくり、夢と希望のある、明るく元気なまちづくりを積極的に進めるため、ここに「スポーツのまち函南」を宣言します。

- 1 スポーツに親しみ、赤ちゃんから高齢者・障がいのある人まで、健康で元気に生活できる、生涯スポーツのまちを目指します。
- 2 スポーツを楽しみ、夢や目標に向かって努力する心を育み、青少年健全育成のまちを目指します。
- 3 スポーツに励み、日本や世界に向けたトップアスリートを目指す人材を育成し、夢と希望のあるまちを目指します。
- 4 スポーツを広げ、支え、世代間・地域間の交流を図り、明るく活力あふれるまちを目指します。

歴史を紐解く

函南町の歩み

History of Kannami

かななみの町の名の由来は「函嶺の南」。箱根連山の南斜面に位置し、町の大部分はこの自然の恵み豊かな傾斜地に属し、古来より人々はこの地を愛しました。

- 昭和 60・10 函南町公共下水道供用開始
- カーマン市と姉妹都市締結
- 昭和 61・4 函南町中央公民館（現函南町文化センター）竣工
- 平成 1・10 蛇ヶ橋ポンプ場竣工
- 平成 4・6 阿弥陀三尊聖火函南町を通過
- 平成 5・3 柏谷公園一部供用開始
- 平成 5・4 木立キャンプ場竣工
- 平成 5・5 町制施行 30 周年記念事業「函南 BIG KAN CAN まつり」
- 平成 6・2 仁田さくら公園開園
- 三島函南広域行政組合設立
- 平成 7・3 日守山公園開園
- 平成 8・3 丹那断層公園開園
- 平成 8・8 函南町農村環境改善センター竣工
- 平成 8・12 保健福祉センター竣工
- 平成 9・4 西部コミュニティセンター竣工
- 平成 9・5 中学校の給食開始
- 平成 9・6 エフエムみしま・かななみ開局
- 平成 9・8 みしま聖苑（葬祭会館）竣工
- 平成 9・9 酪農王国オラッチェ竣工
- 平成 9・12 熱函道路無料開放
- 平成 10・8 集中豪雨
- 平成 11・12 伊豆新世紀創造祭
- 平成 12・3 観音川排水機場全施設完成
- ごみ焼却場・リサイクルプラザ竣工
- 平成 14・3 田方北消防署新庁舎落成
- 平成 14・10 湯〜トピアかななみ開館
- 平成 15・4 町制施行 40 周年記念式典
- 平成 15・5 畑毛せせらぎ公園開園
- 平成 17・6 函南町役場庁舎竣工
- 平成 19・3 東部保育園廃園
- 平成 19・4 仁田マーガレット保育園開園
- 平成 22・4 平井簡易水道が上水道へ統合
- 平成 24・4 函南町消費生活センター開設
- かななみ仏の里美術館開館
- 町制施行 50 周年記念式典
- かななみ知恵の和館開館
- 平成 25・10 函南町中央公民館から函南町文化センターへ
- 平成 26・2 東駿河湾環状道路（三島塚原 IC～函南塚本 IC）開通
- 平成 26・4 函南スポーツ公園一部供用開始
- 函南町文化センターゾーン完成記念式典
- 平成 27・4 美しい伊豆創造センター設立
- 平成 27・11 函南町教育大綱を策定
- 平成 28・4 消防救急の広域化（駿東伊豆消防本部へ）
- 函南町教育支援センター開設
- 平成 29・5 道の駅「伊豆ゲートウェイ函南」開駅
- 平成 30・4 伊豆半島ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定
- 平成 31・4 川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」開駅

- 昭和 38・4 町制施行により函南町へ
- 昭和 38・6 上水道給水開始
- 昭和 38・11 二葉保育園、丹那保育園が幼稚園となる
- 昭和 39・5 広報かななみ 1 号を発行
- 昭和 39・10 オリピック聖火函南町を通過
- 昭和 39・11 消防団組織 16 分団から 5 分団へ
- 昭和 40・7 狩野川放水路竣工
- 昭和 41・10 ごみ収集事業開始
- 昭和 43・6 広報かななみお知らせ版 1 号を発行
- 昭和 43・11 函南中学校火災
- 昭和 44・4 新幹線三島駅開業
- 昭和 44・6 「町章」を制定
- 昭和 45・6 集中豪雨
- 昭和 46・4 丹那中学校を函南中学校に統合
- 田方地区消防組合設立
- 間宮幼稚園開園
- 昭和 46・9 熱函トンネル開通
- 昭和 46・12 旧役場庁舎起工
- 昭和 47・3 函南中学校丹那教場（旧丹那中学校）廃校
- 富士見台保育園廃止
- 昭和 47・4 田方地区常設消防函南支署開署
- 昭和 47・12 町営東部簡易水道給水開始
- 昭和 48・3 熱函道路開通
- 昭和 48・4 町制施行 10 周年、「町の木」、「町の花」を制定
- みのり保育園が幼稚園となる
- 昭和 49・4 東部保育園開園
- 自由ヶ丘保育園が幼稚園となる
- 昭和 49・6 町営キャンプ場を開設
- 昭和 49・7 集中豪雨
- 昭和 50・3 県営駿豆水道受水開始
- 昭和 51・2 柏谷横穴群が国指定史跡となる
- 昭和 51・4 田方広域公共下水道建設事業開始
- 東小学校開校
- 旧ごみ焼却場竣工
- 昭和 52・12 沼津夜間救急医療センター開所
- 昭和 53・1 伊豆大島近海地震発生
- 昭和 53・4 西部保育園開園
- 昭和 53・8 第 2 浄水場通水開始
- 昭和 54・3 保健センター（現ふれあいセンター）竣工
- 昭和 54・4 西小学校開校
- 昭和 55・3 同報無線完成
- 昭和 55・4 ひまわり保育園開園
- 昭和 56・4 函南さくら保育園開園
- 昭和 57・4 東中学校開校
- 昭和 58・12 「函南町民憲章」を制定
- 昭和 59・3 町制施行 20 周年記念式典
- 昭和 59・4 勤労者体育館（現函南町体育館）竣工
- 昭和 59・10 丹那トンネル開通 50 周年
- 昭和 60・4 伊豆中央道一部供用開始
- 昭和 60・5 こだま苑竣工

古



十国峠、日金山山頂には、鎌倉三代将軍源実朝が伊豆山権現の参詣にむかう折、詠んだ歌碑があります。

中世



近世



1963年に函南町となるまでに関東大震災や北伊豆地震、丹那トンネル開通までの困難、台風による水害などさまざまな苦勞を経て、現在の穏やかで活気あふれる町となりました。

現代